

新発田市 令和3年度 第5回定例記者会見

1 日 時 令和3年8月2日(月)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

【市長発表項目】

- 新型コロナウイルスワクチンの接種状況
- 市オリジナル「認証飲食店ステッカー」が完成！
- 令和3年度スポーツツーリズム事業について
(○世界卓球選手権日本代表選考会を開催！！)
(○富樫勇樹選手 新発田市スポーツ大使の任期更新について)
- 東京2020パラリンピック 新発田市聖火フェスティバルの開催について
- 「しばた平和のつどい」開催

【その他】

- 不動産フェア
- 新発田市音楽文化協会第70回記念定期演奏会
- 落谷虹児記念館企画展「光と風の詩 はり絵画家 内田正泰展」

あいさつ

○オリンピックで金メダルラッシュという良いニュースの一方で、新型コロナウイルスが全国で猛威を振るっています。新潟県もここにきて多くの感染者が発生しています。一番心配をしているのが新発田市民の感染者数です。飲食店あるいは小売店でクラスターが発生したという報道が保健所からあり、心配しています。

○飲食店約120店舗の皆さんに、注意喚起よりも強めのお願い文書を配布しました。同時に、全ての市民に対し、これまでよりも少し強めの内容で8月1日号の広報し

ばた発行に併せてお願いをさせていただきました。

- 昨日も 6 名の感染者発生ということで心配な状況です。このような状況で、県が「使っ得プラン」を中止する情報が入ってきましたので、私どもも、今・得キャンペーンの飲食プランを 4 日から中止とします。今・得キャンペーンの宿泊プランについては、県の「使っ得プラン」について、今日あたりに情報が出てくるようなので、これに合わせていきたいと考えています。
- 新発田市は完全にブレーキを踏もうということです。これ以上の感染の拡大をなんとか防ぎたいと思っています。3 つの密の回避、首都圏への往来などについて注意喚起していきます。とりわけ、これからお盆になりますので、学生の帰省などがあると思いますが、市民に対してしっかりと注意喚起していきます。
- 先般、下越の 9 市町村と花角知事との懇談会がありました。話題になったのはワクチン接種の関係です。市町村と県の間で、すり合わせが少し足りなかった部分について議論がありましたが、花角知事から十分な説明をいただきました。
- ワクチン接種はシンプルな方が良いので、接種するのは市町村、県はワクチン確保と配分に徹してほしいと、私が前回の会見で申し上げましたが、これは、私のみならず、県内の市町村長からも同じ意見が出ているということが確認できました。有意義な会議となりました。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、新型コロナウイルスワクチンの接種状況についてです。

- 新発田市でも感染状況がやや拡大しており心配していますが、その中で、最後の砦ともいべきワクチン接種についてです。当市の 65 歳以上の方でワクチン接種を希望される市民の皆様への対応については、7 月末で無事一区切りを終えています。
- ワクチン接種を希望された 2 万 7, 183 人に対する接種率は 98.8%であり、残りの 1.2%の方は、入院や体調を崩されているとの事で、ご希望があれば、今後の接種日程の中で対応してまいります。なお、3 月末時点の 65 歳以上の人口 3 万 2, 456 人に対する予約率は 83.8%となり、ほぼ全国平均並みと考えています。

○次に、12歳から64歳の皆様への対応についてです。7月19日より基礎疾患のある方の先行予約、7月26日から一般の皆様からの電話予約を受け付け、本日、午前9時からネット予約を開始いたしました。いずれの予約についても全く混乱を生じることなく、順調に接種予約の受付は進んでいます。

○また、既に、基礎疾患のある方だけでなく、一般の方への接種も7月31日から開始しています。ワクチン不足に関しては、以前より申し上げている通り、総数を確保していると国が示していることから、当市の接種計画に基づき進めていく限りにおいて、大きな影響を及ぼす要素はないと考えており、予定通り11月末までの完了を目指して、希望される方に対するワクチン接種を淡々と進めてまいります。

○なお、若年層への働きかけの一つとして、市内中学校、高校の協力を経て、保護者の皆様に対して、ワクチン接種の意向調査を6月末に実施しています。かかりつけ医での個別接種をはじめ、親御さんとご一緒に集団接種を受けられるなど、方法は様々ありますが、中学生・高校生のいずれも、概ね8割程度の皆様がワクチン接種を希望されています。当市では、今週から高校生への接種を皮切りに進めてまいります。秋以降は、修学旅行などの学校行事や、就職試験、受験などが控えています。何とか希望される生徒の皆様適切な時期に接種が完了出来るよう担当には指示しています。

○先週末には、下越地域では初となる、県の大規模接種会場として旧天王小学校で、新潟県と連携したワクチン接種を実施しました。近隣自治体の住民の皆様も含め、土・日の2日間で、約3,600人の64歳以下の皆様へのワクチン接種を無事に終わりました。何よりも重要なことは、安心・安全にワクチン接種を進めていくことだと思っていますので、今後も、気を引き締めて臨んでまいります。

次に、市オリジナル「認証飲食店ステッカー」についてです。

○新型コロナウイルス感染症対策の一環として、徹底した感染対策を講じている飲食店の支援と、市民の皆様に、安全に飲食を楽しんでもらえるお店の目印として、市オリジナルの「飲食店認証ステッカー」を作成しました。

○このステッカーは、商工会議所、市内飲食店組合、行政機関などが、市独

自の感染防止対策を講じていくために組織した『新発田市飲食店感染防止対策推進協議会』が中心となって作成したものであり、県が進めている「にいがた安心なお店応援プロジェクト」の認証基準を満たし、認証を受けた飲食店を対象に配布していきます。

- 感染症防止対策を徹底しているので、コロナ禍でも安全にご利用できる飲食店だということを、お店自身だけではなく、市としても市民の皆様に PR していきたいと考えて作成しました。県の認証を受けた飲食店を回り、感染対策の状況を確認した上でステッカーを配布し、店頭などの目立つ場所に貼っていただきます。
- 現在、経済対策として行っている「今・得キャンペーン」に参加する飲食店を中心とした 120 店舗に、県の認証制度の取得を呼びかけておりますが、多くの飲食店が、申請の意向を示していると聞いております。
- 新潟県でも、この認証制度の店舗拡大に向けて、全県の保健所管内ごとに申請受付会を開催することとしており、新発田保健所管内については、明日、8 月 3 日（火）に新発田地域振興局で実施を予定しております。
- 当市としてもこの認証制度取得を強力に後押しするため、8 月 20 日（金）に、市内飲食店を対象とした市独自の相談会を新潟県と連携して実施します。これにより 1 店舗でも多くの市内店舗に申請していただき、より一層『安心して飲食ができるしばた』を目指し、経済支援策の一助となる取組を進めてまいります。

次に、令和 3 年度スポーツツーリズム事業についてです。

- 地域経済の活性化、スポーツを通じた人々の交流などを目的とした当市のスポーツツーリズム事業について、今年度の大会誘致に係る実施内容が決定しましたのでお知らせします。

○まず、アメリカヒューストンで開催される卓球世界大会の日本代表を決める「2021 世界卓球選手権大会日本代表選手選考会」の開催についてです。東京オリンピックでも日本が大活躍している種目、卓球のトップアスリート 48 名が、ここ新発田に集結します。

○8 月 30 日から 9 月 2 日までの 4 日間で行います。コロナ禍ということで、試合観戦は県内在住者に限定、各日とも 350 人とさせていただきますが、トップレベルの技とスピードを是非楽しんでいただきたいと思います。

○次に、「パラ F I D ^{エフアイディー} ジャパン・年代別オープン卓球大会 2021」の開催についてです。トップレベル選手の試合はもちろん素晴らしいものですが、卓球は、年代や障がいなどにかかわらず、全ての方が生涯スポーツとして楽しんでもらえる競技です。

○パラスポーツの推進に力を入れている当市で、知的障がい者卓球の全国大会を 9 月 25 日、26 日の 2 日間、開催します。東京パラリンピック出場選手も参加を予定しているとのことですので、こちらも白熱した戦いが繰り広げられるものと期待しております。

○最後に、昨年引き続き開催を予定しておりました、当市出身の富樫勇樹選手が所属するバスケットボールチーム、千葉ジェッツを招いての B リーグプレシーズンゲームについてですが、こちらは残念ながら球団活動スケジュールとの調整が整わず、中止となりました。

○しかし、東京オリンピックでも活躍した富樫選手には、新発田市スポーツ大使を務めていただいております。出身地「新発田」を国内外に PR してもらい、また、新発田の子ども達や市民に対してたくさんの元気を届けてもらっています。

○これからもスポーツを愛する新発田市民の象徴として多方面で活躍して

いただきながら、また、この新発田に来てもらうチャンスを作っていきたいと思っております。

次に、東京 2020 パラリンピック 新発田市聖火フェスティバルの開催についてです。

- オリンピックの熱気をパラリンピックへつなぐ機運醸成の役割、そして、共生社会の実現に向けて、人と人、人と社会の新しいパートナーシップを考えるきっかけとなることを目指し、パラリンピック聖火リレーが予定されています。
- このリレーに使う火として、「しばたの火」を採火します。新発田市ロボコン教室の子どもたちが製作したロボットにより起こした火を使って、新発田竹俣特別支援学校と、同五十公野分校の生徒たちと協力して、採火を行います。
- 当市のコンセプトである「『新しい発想』と『多様な光』の融合による共生社会の実現」という想いを込めた、当市ならではの採火式を計画していますので、是非ご覧いただきたいと思えます。

最後に、「しばた平和のつどい」開催についてです。

- 2週間後には、76回目となる終戦記念日を迎えます。当市では、例年、戦争の悲劇を繰り返すことなく、平和への思いを引き継いでいくために、「しばた平和のつどい」を開催しています。
- 去年はコロナ禍の影響により実施しませんでした。今回は8月11日(水)に、リモートではありますが、平和祈念講演会を開催します。市内中学生の参加も予定しております。戦争で何が起きたのかということ、しっかり学んでもらいたいと思えます。
- また、新潟県代表の高校生平和大使である、新潟明訓高校の鈴木優花さんとの対談も予定しております。ぜひ、多くの皆さんにご参加いただき、令

和の時代も、戦争のない世の中となるよう、平和について、一緒に考えて
いただきたいと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベン
トを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新
発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。